

地域福祉活動職員の

ま な こ

地域福祉活動推進のために

No.93

2023年 3月発行 福岡県地域福祉活動職員連絡会



【福岡県地域福祉活動職員連絡会研修事業】 原点回帰

～受託事業の在り方から
社協のアイデンティティを考える～

と き 2022年10月21日(金)

と ころ リファレンス駅東ビル

参 加 者 35名

『社協が目指す地域福祉って?』
『社協って、もっと出来ることがあるのでは?』そんな思いから出発した、この研修会。

講師の猪俣事務局次長(阪南市社協)、パネリストの山崎事務局長(糸島市社協)、江口係長(広川町社協)、野尻係長(大川市社協)の、プレイヤーとして、マネージャーとして、歩まれてきた確かな実践をお聴きし、自らの取り組みを振り返り、また、明日からの実践を見つけられる機会となりました。

「社協が目指す地域福祉とは、
カギを握るのは、
住民主体と行政との
パートナーシップ!」

今回の研修のテーマである「原点回帰」。普段の仕事に追われ、個人的にも、社協内でも、なかなか考えることのないテーマでした。猪俣さんの講義の中では、阪南市の概況とともに、原点に戻る時間「地域福祉とは?」「社協とは?」があり、自分が今まで取り組んできたことを振り返り、意味付けしていく、良い機会となりました。また、地域福祉や住民主体の定義など、ある意味「社協職員としてのキホン」をご教示頂き、何となく感覚で仕事をしてきた自分にとって、貴重な機会であるのと同時に、まだまだ勉強不足だと痛感させられました。



社協の地域福祉の実践について。阪南市の取り組みをお聴きし、「当事者の声」を凄く大事にしているなと感じました。中でも印象に残ったのが、発達障がいをもつ子を地域で支える(親子の福祉委員会会議の参加から、子どもが一人で学校に行けるようになった)事例です。地域の課題を専門職だけで話すのではなく、住民で話す仕組みを作るなど、『住民をお客様にしない』取り組みが徹底されていることが素晴らしいと感じたのと同じ時に、「ほっこり」したエピソードでした。このような「ほっこりエピソード」を作っていくのが、私の密かな目標です。

原点回帰

～受託事業の在り方から社協のアイデンティティを考える～

主催：福岡県地域福祉活動職員連絡会

当事者の声を地域住民が我がごととして捉え、アクションを起こせるよう、仕掛けていく(敢えて仕掛けないことも)。大事なことです。地域が変わるための様々な戦略を練っていくと感じました。猪俣さんの実践や言葉には、忘れかけていた社協のアイデンティティや社協職員の醍醐味が散りばめられており、明日から頑張ろう!と思えるような講義でした。

「受託事業の在り方」
〜私の考える受託事業〜

パネルディスカッションでは、猪俣さんコーディネートののもと、3名のパネラー(山崎事務局長・江口係長・野尻係長)に登壇いただきました。



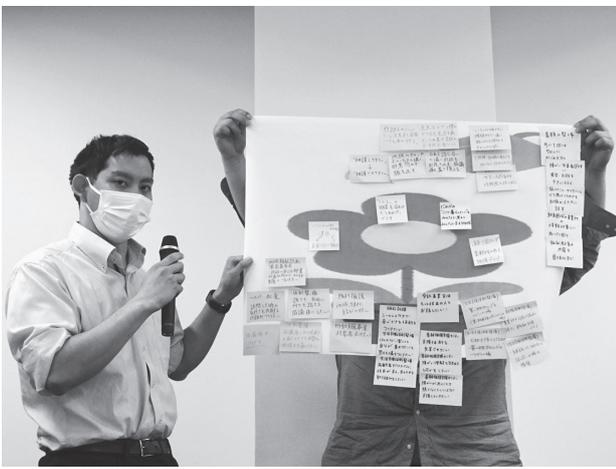
た。それぞれの立場から、受託事業に対する想いや理想と現実、悩みについてお話しいただき、受託事業をポジティブに、あくまでも地域福祉の推進のツール(地域住民のために)に事業を活用していくか)として捉えることを学びました。マイナスイメージに捉えがちな受託事業ですが、制度化された背景や日ごろからの住民ニーズを汲み取っていれば、「降ってくることはない」という江口係長の言葉にハッとさせられました。また、今後の社協の事業展開として、担当任せにするのではなく、社協として、その事業をどのように展開していくのかを全体で考えていきたいと思えました。「つながり」を住民へ求める前に、自分の社協内でつな



がっているのかを反省…。

「明日へのアクション!」
〜自分の目指す理想像を語ろう〜

グループワークでは、理想の地域福祉や自分が受託事業でやりたいこと、理想を目指すために、どのようにアクションを起こしていくのかを語り合いました。自分が理想とする地域福祉への事業展開・やりたかったことを、受託事業を含めた担当業務でできているかを考えてみると、理想と現実のギャップに気づかされました。「明日へのアクション!」ということで、そのギャップを埋めるための具体的な行動を考えました。「地域や行政、そして社協内での関係づくり」「当事者の声を力々に」など



様々な声を聞くことができたのと同じに、「こんなに熱い思いを持った社協職員がいるんだ」と刺激を受けました。何のために進めているのか、自分はどう進めていきたいのかという定期的な振り返りを個人的にも社協内でも行っていききたいと思えます。

今回の研修を振り返ると、事業委託を受け、どうしても目の前の業務や目の前の支援者への対応に追われてしまい、「こなす」ことが中心となってしまうがちな中、改めて一つ一つの事業を通して本来何を目指していたのか、「ふだんのくらしのしあわせ」の実現に向かっていたのか、「誰のため」の事業なのか、本研修を通して社協の在り方や私たち職員の仕事への取り組み方を改めて見直す機会となりました。

少子高齢化の進行や今回の新型コロナウィルスによる特例貸付など、社協に求められる、また社協が果たすべき役割はどんどん幅広く、複雑になっていくのではないのでしょうか。講演やパネルディスカッションでお話し頂いた中にもありましたが、社協の外部の関係機関はもとより、社協の内部、社協同士の横のつながりを作っていく、その中で「住民主体」の下、「ふだんのくらしのしあわせ」を実現できる様、これからも社協活動に取り組んでいきたいと感じました。

(行橋市社協 大道)



【福岡県地域福祉活動職員連絡会 全体会議②】

「みんなの社協はどうしてる？
～聞きたい！ 知りたい！ 語りたい！～」

と き 2022年12月21日(水)
と ころ 大野城市総合福祉センター
参 加 者 31名

今年度2回目となる全体会議は、ワーカー悩ませコンテンツであろうテーマを5つ準備し、情報交換や協議を行いました。普段の業務の中で抱えている悩みや思いを発散、共有することで、ワーカー自身のセルフヘルプと成長を目指す機会となりました。

「他社協の取り組みを知りたい！」

今回の研修案内でグループワークの内容について拝見した際に、他社協の取り組みを知りたい！と思える内容だったため、すぐに申込みさせていただきました。

今回の研修は、「みんなの社協はどうしてる？」聞きたい！知りたい！語りたい！」をテーマに、5つの内容についてグループでわかれて、前半の2部構成で協議しました。私が参加したグループは、前半が「最難関課題？」人材育成・部署間連携、後半が「社協は見えづらい？」広報誌、SNS等の情報発信による見える化」について、それぞれグループで話し合い、全体の発表で各グループの意見を聞きました。

前半の人材育成では、県社協の「職員行動指針」や「新人職員育成」をも

とに協議しました。場面に応じた臨機応変の対応ができない、価値観の違い等、新人職員とのギャップに苦勞している等の意見が出ました。また、部署間連携については、定期的なミーティングや担当部署を超えた事例検討の研修を行っている等の意見が出ました。私はまだ新人職員の育成に携わったことは無いのですが、先輩ワーカーの貴重な話しを聞くことができ、とても勉強になりました。

後半の情報発信による見える化では、それぞれの社協が作成している広報誌について、実際に広報誌を持ち寄り、意見交換を行いました。他社協の広報誌を目にすることはあまりなかったのも新鮮であり、それぞれの社協で工夫されている記事や作成に至るまでの過程等、取り入れたいと思える内容が多々ありました。また、SNSの活用について、若年層への情報発信が課題であるとの意見が出ました。福祉ニーズは複雑化・多様化していて、それぞれの世代に対してどうアプローチしていくか考えるきっかけとなりました。

また、ツイッター、インスタグラム、LINEを使いこなしている大野城市社協さんには大変驚かされました。社協は何を行っているのかわからない、相談しにくい等と思われ

ている住民の方々も多いと思います。HPやSNSなどで積極的に情報発信し、社協のことを分かりやすく伝える、社協に行きやすい・気軽に相談できる雰囲気づくりも大事だと感じました。

今回の研修で学んだことや得た情報を、今後の取り組みに活かしていくことはもちろんのことですが、初めて話す方々も多く、コロナ禍で希薄になっている他社協とのつながりの大切さを再確認することができました。とても参考になることばかりで、参加してよかった！と思えた研修でした。

(八女市社協 野田)



【福岡県地域福祉活動職員連絡会研修事業】
ファシリテーション力講座
 ～円滑な舵取りと裏返し～

と き 2023年2月10日(金)
 と ころ クローバープラザ
 参 加 者 41名



相手に最大の興味を!

「え!この研修面白そう!」研修のチラシをみて、瞬間的にそう思いました。いま最も学びたい内容のひとつ、ファシリテーション力の講座でした。社協職員として、地域活動者等の集まりでファシリテートを任せられる場面は数多くあります。心を掴まれ今回の研修に参加をしました。

講師は、ワナタベエンターテインメント所属の芸人 朝倉幸男さんです。いつもの講師とはひと味違い、太い眉毛に赤い頬つぺのメイク、つなぎの衣装で登場されました。アイスブレイクには、フリップ芸を披露していただき、会場を一気に自分の空

気に染めていきます。

まず、ファシリテーションのスキルとして、「コミュニケーションの大前提は、『相手に最大の興味を持つこと』だと教えてくれました。興味を持つことで、相手をよく観察し、質問の糸口がみえてくるということです。これは誰でもすぐに取り入れられる心構えです。」

そして、ファシリテーションの数々のポイント「舵取りのコツ・意見を引き出すコツ・道がそれたときに修正するコツ・・・等々」を伝授してくれました。どれも朝倉さんが芸人として培われた経験に基づく内容で、お話一つひとつに説得力がありました。

講演の後、早速学んだ内容を活用するため、グループワークをしました。役割をファシリテーター・ポジティブな人・ネガティブな人・無関心な人・思い付きで発言する人・裏で調整する人に分け、提示されたお題について協議をしました。みな役割に入り込み、どのグループも盛り上がりを見せました。役割を実際に体験したことで、各自気づきも多かったようです。感想には「目的を明確にすると話がまとまりやすい。」「事前の打合せが大切だ。」等が述べられていました。

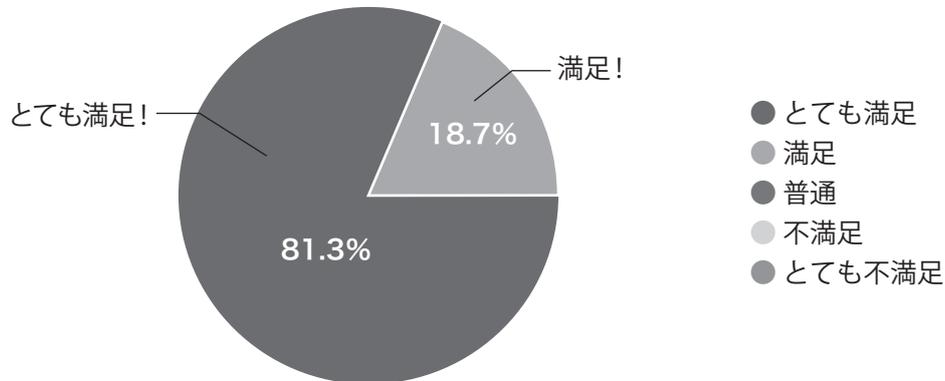
今回の研修で学んだ知識や技術を、現場で実践し経験を積むことで、自分なりのファシリテーションのコツをそれぞれに掴んでいくのではと思います。

(北九州市社協 上射場)



ファシリテーション力講座 アンケート集計結果(抜粋)

Q1. 今日の研修はいかがでしたか？



Q2. 前半の講演会の感想をお聞かせください。

- ・朝倉さんのユーモアあふれるトーク、とても楽しかったです。ちょっとしたコツでみんなが意見をいいやすくなると思うと明日からでもやってみたいと思います。
- ・福祉関係者以外からの話を聞いてとても勉強になった。
- ・さすがは芸人さんでした。引き込まれる話し方とテンポで、とてもわかりやすかったです。知っていたようで意識できていなかったところに気づけました。
- ・おもしろいお話の中に、普段とくに意識していなかった観察力や意識するポイントを教えていただきました。
- ・伝統と伝承の話を聞き、社協の事業も「例年通り」で満足しては下降していると気づかされました。
- ・苦手なファシリですが、「相手に興味をもつこと」を大切に、自分なりのすすめ方を身につけていきたいと思います。

Q3. 後半のグループワークの感想をお聞かせください。

- ・それぞれのキャラが立っていてとても面白かったです。いろんな考えや性格の方がいる会議をまとめる難しさといろんな意見があっていいんだという心構えの両方を体感できました。
- ・難しかったです。でも、いい経験になりました！
- ・自分の力量不足を再確認しました。地域でファシリやる時以外もつながり、信頼関係づくりが大切なんやなど、思いました。
- ・無関心の方の役をした時に、やらされてる感を出したら本当に話が聞こえてきませんでした。話に参加しようとしていない人にはもう少し働きかけが必要と感じました。
- ・グループの皆さんと日頃ファシリをする中でのあるあるを共有しながら、アドバイスもいただくことができ、とても勉強になりました。
- ・くせの強いネガティブな役の人はとても生き生きしていたが、ネガティブの人なりに地域や住民のことを思っの発言であったのかなとも思うと地域活動に参加してくれているだけでもありがたい、愛おしいとも感じるようになった。
- ・とても楽しくできました。メンバーの皆さんの演技がとても上手で、普段から社協のお仕事、頑張っっていらっしやるんだらうと感じました。
- ・とてもおもしろいグループワークだったと思います。ボランティアさんの会議や協議体などイメージしながら取り組みました。自分の社協や地域でもやってみたいと思いました。

Q4. 明日からやってみみたい朝倉幸男流のコツがあれば教えてください！

- ・最大限の興味をもつ。明日から是非やってみます。
- ・息継ぎカットインやってみます！。
- ・自分流のファシリテートをしっかり振り返る。
- ・すぐに会議を始めない 雰囲気づくり。
- ・逸れたとき、自分を悪者にして終わるコツは活用していきたい。

社協あるある川柳

社協職員が普段から感じている「あるある」を川柳で募集したところ、ユーモアあふれる作品がたくさん寄せられました。地職連の役員で厳正な審査を行い、見事そのそさんが最優秀作品に選ばれました！のそのそさんには、景品をプレゼントします。皆様、ご応募ありがとうございました。



担当は？
兼務が多く
いろいろです
アナログ星人

社協って
ひとこと説明
難しい
わーかーくん

「もう知らん」
とは思えども
気にかかる
かあちゃん



いつも留守
フットワークの
軽さゆえ
のそのそ
最優秀作品

もしもしもの
後につづくよ
「役場かね？」
n n

今年もか
いつまでいるんだ
古狸
あまくだり やそぎち

コロナ禍でも
いつもと変わらず
会社出勤
おはぎ

〇〇市
ああ、あの職員が
いるとこか
ゴリ

「もはや趣味」
「ライフワーク」と
呼んでくれ
妻の言葉に傷つく社協マン

「他にもこのような作品が寄せられました！」
粹足らん 正式名称 字たくさん
一歩ずつ 進めど離る 鶴の声
男性の 参加を待っている わがサロン
ボランティアと 一緒に頑張る 災害時
異動して 拡がる世界 どう活かす？
マスク下 見えないけれど 笑顔です
人あたり だいたいいい人 社協マン
年度末 次の上司は どなたかな
その考え ひとよりよがりになつてない？
人に聴く かんたんなこと 悩みがち
街頭募金 人の温もり 感じる日
「市のおかげ」 やってる社協は 影の人

あか、みどり
ひとめでわかる
ユニフォーム
まり

オンライン
はりきり発言
音が出ず
ワルオミ

総会のご案内

令和5年度 福岡県地域福祉活動職員連絡会 総会



- ◆とき 2023年5月26日(金) 14:00～15:00
- ◆ところ リファレンス駅東ビル 会議室 Y-1
- ◆内容 令和4年度事業報告・決算・監査報告について
交代に伴う幹事の選任について
令和5年度事業計画・予算案について



総会后研修

- ◆とき 2023年5月26日(金) 15:00～17:00
- ◆ところ リファレンス駅東ビル 会議室 Y-1
- ◆内容 「コミュニティワーカースキルアップダンジョン」

地域福祉の推進には、様々な方法・技術がありますが、目に見えにくいもので、なかなか上手いかないなど感じている方もいるのではないのでしょうか。そこで本研修会を通して、様々なスキル獲得に必要な経験値・取り組み・便利アイテム等を知り、ワーカーとしてのレベルをワンランク上げられるような研修会を行います。

※研修後、情報交換会も予定しています。



1年間ありがとうございました。

この度、大野城市社協を退職することになり、地職連役員も辞めさせていただくことになりました。

役員になった当初は、日頃の仕事も忙しいのにさらに仕事が…、仕事ができる他の社協の職員さんたちと果たしてうまくやっていけるのだろうか…と、不安が多くありました。でも、今では仕事で出会わなかった方たちの話を聞けたり、いろんな社協にお邪魔できたりして、得したなと思っています。同じ社協職員だけ違う社協の方だからこそ違いがあったり、わかる～と思う話があったり、楽しい時間を過ごすことができ、役員の皆さんには本当に感謝しています。4月から新しい地で地職連の Facebook をチラ見しながら、皆さんの活動を応援しています。1年間お世話になりました。ありがとうございました。

(大野城市社会福祉協議会 益坂)



編集後記

まなこ93号をご覧いただきありがとうございます。今年度は、私の念願？だった「畑づくり」を通して、様々な支援が展開できた！と自己満足しています。「自分の好きなことを仕事に…」この一年は、社協職員の醍醐味や仕事の面白さを感じることができました。どんな取組みか気になる方はお気軽にお問い合わせて下さい。「それだけ？」と言われるかもしれませんが…

(苅田町社協 永松)

発行者 福岡県地域福祉活動職員連絡会

事務局 〒811-2202

福岡県糟屋郡志免町大字志免 451 番地 1

志免町社会福祉協議会 担当：宿利

TEL：092-937-3011

FAX：092-936-9067

mail：chiiki02@shime-shakyo.or.jp

HP：https://f-chishokuren.org/

地職連 HP▶

